

1 富山県の動き

(1) 概況

本県経済をみると、個人消費は、底堅い動きとなっている。住宅建設は、弱い動きとなっている。設備投資は、増加している。公共投資は、このところ増加している。生産は、持ち直しの動きが一服している。雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。企業倒産の件数は、一桁台となっている。消費者物価は、上昇している。以上のように**最近の本県の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、このところ底堅い動きとなっている。**

先行きについては、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響などの海外景気の下振れが景気を下押しするリスクに十分注意するとともに、地震の県内経済に与える影響に十分留意する必要がある。

主な指標	指数等	前月（期）比	前年同月比
鉱工業生産指数（9月）	99.9	3.8%	▲3.1%
鉱工業在庫指数（9月）	100.4	0.2%	▲5.7%
大型小売店販売額（9月）	105億44百万円	（全店ベース）	▲1.8%
新設住宅着工戸数（9月）	502戸	19.2%	19.5%
消費者物価指数（10月・富山市）	109.8	0.7%	1.7%
有効求人倍率（10月・季節調整値）	1.37倍	0.01ポイント	▲0.05ポイント

※鉱工業生産指数・在庫指数は、令和2年=100

※消費者物価指数は、令和3年7月分発表時より令和2年基準に改定

※有効求人倍率は、令和5年12月以前の数値を新季節指数により改定

(2) 個人消費

個人消費は、底堅い動きとなっている。大型小売店（百貨店・スーパー等）販売額をみると、8月は119億14百万円の後、9月は105億44百万円で前月比11.5%減（前年同月比1.8%減、既存店のみでも前年同月比0.2%増）となった。また、耐久消費財の販売動向を乗用車（軽を含む。）の新車新規登録台数でみると、9月は3,706台で前年同月比0.4%増の後、10月は3,207台で同7.8%減となった。

(3) 住宅建設

住宅建設は、弱い動きとなっている。新設住宅着工戸数をみると、8月は総戸数421戸（前年同月比7.1%減）の後、9月は総戸数502戸（同19.5%増）で内訳をみると、持家は230戸（同15.6%増）、貸家は237戸（同28.8%増）、分譲住宅は32戸（同11.1%減）などとなっている。

(4) 設備投資

設備投資は、増加している。日本銀行金沢支店「北陸3県企業短期経済観測調査」（令和6年9月調査）における令和6年度設備投資計画では、富山県は、全産業で前年度比14.9%増となっている。（ソフトウェア投資額を除く）。内訳は、製造業で前年度比24.7%増、非製造業で前年度比7.4%増となっている。

(5) 公共投資

公共投資は、このところ増加している。公共工事前払金保証事業統計（北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱調べ）で公共工事請負金額をみると、9月は126億13百万円の後、10月は94億15百万円で前年同月比23.5%増となった。また、令和6年8月－令和6年10月期の平均額は、116億85百万円で前年同期比24.3%増となった。

(6) 生産

鉱工業生産の動きをみると、持ち直しの動きが一服している。鉱工業生産指数（令和2年＝100、季節調整済）は、8月に96.2となった後、9月は前月比3.8%増加の99.9（前年同月比3.1%低下）となった。業種別に動き（前月比）をみると、13業種中、電気機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業などの6業種が上昇し、化学工業、プラスチック製品工業、繊維工業などの7業種が低下となった。鉱工業生産者製品在庫指数は、8月に100.2となった後、9月は前月比0.2%増加の100.4（前年同月比5.7%低下）となった。業種別に動きをみると、13業種中、電気機械工業、金属製品工業、プラスチック製品工業などの6業種が上昇し、汎用・生産用・業務用機械工業、非鉄金属工業、窯業・土石製品工業などの5業種が低下し、化学工業、食料品工業の2業種が横ばいとなった。

(7) 雇用情勢

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。10月の月間有効求人数（パート含む。）は22,041人（前年同月比3.9%減）、月間有効求職者数（パート含む。）は15,850人（前年同月比0.7%減）となった。有効求人倍率（季節調整済）は、9月に1.36倍の後、10月は1.37倍となった。

(8) 企業倒産

企業倒産件数は、一桁台となっている。企業倒産（負債額1,000万円以上、東京商工リサーチ富山支店調）の状況を見ると、9月に5件、負債総額10億49百万円（前年同月：2件減、2億7百万円減）の後、10月の件数は7件で、負債総額4億88百万円（前年同月：2件増、2億2百万円増）となった。産業別では、建設業で4件、サービス業他で2件、運輸業で1件だった。破綻原因は、販売不振7件だった。

(9) 物価

消費者物価は、上昇している。富山市の消費者物価指数（令和2年＝100）をみると、総合指数は、9月は109.0で前月比0.7%減少（前年同月比1.7%上昇）となった後、10月は109.8で前月比0.7%上昇（同1.7%上昇）となった。前月比で「交通・通信」などが下落したものの、「食料」などが上昇したため、総合指数の前月比は上昇。また、生鮮食品を除く総合指数は109.3で、前月比0.6%上昇（前年同月比1.7%上昇）、生鮮食品の指数は119.8で、前月比2.9%上昇（同2.0%上昇）となっている。

また、国内企業物価指数を見ると、9月は123.5で前月比0.3%上昇（前年同月比3.1%上昇）となった後、10月は123.7で前月比同0.2%上昇（同3.4%上昇）となった。

(10) その他の動き

① 工業の動き（9月～10月）

業種別	企業ヒアリングの特徴点
一般機械	自動車産業、航空機産業向けの軸受については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状は停滞、見通しは低調となっている。雇用状況については、足りている。
電子電気機械	電子機器等については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。 半導体製造装置については、生産は減少、出荷は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。 変圧器、配電盤については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。
輸送機械	生産、出荷ともに増加となっている。現状は好調、見通しは低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。
金属製品	アルミニウム建材製品、住宅規格商品については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。 民生用包装容器については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、不足している。
非鉄金属	生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。
鉄鋼	生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。

業種別	企業ヒアリングの特徴点
化学	<p>基礎化学品、機能化学品、農業化学品については、生産は増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>医薬品については、生産は減少、出荷は横ばいとなっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、不足している。</p>
紙・パルプ 印刷紙器	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状は低調、見通しは停滞となっている。雇用状況については、不足している。</p>
木材・木製品	<p>素材については、需要は減少傾向、価格は横ばい傾向となっている。見通しは悪化傾向となっている。</p> <p>製品については、需要は減少傾向、価格は値下がり傾向となっている。見通しは低迷となっている。</p>
プラスチック	<p>車両関連については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p> <p>家庭用品、園芸用品、工業製品については、生産、出荷ともに増加となっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りている。</p>
情報サービス	<p>受注、売上ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに堅調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>
繊維	<p>生産、出荷ともに横ばいとなっている。現状、見通しともに低調となっている。雇用状況については、どちらかといえば足りていない。</p>

② 労働市場（富山労働局職業安定課調）

10月の富山県の雇用情勢をみると、新規求人数（パート含む。）は8,538人で、前年同月比3.1%増となった。主要産業別では、製造業(4.4%)、建設業(3.8%)、情報通信業(15.6%)、運輸業、郵便業(18.0%)、卸売業、小売業(11.6%)、不動産業、物品賃貸業(2.2%)、宿泊業、飲食サービス業(2.2%)、医療、福祉(6.7%)等で増加し、金融業、保険業(▲44.0%)、生活関連サービス業、娯楽業(▲22.2%)、サービス業(▲2.6%)、公務・その他(▲35.4%)等で減少した。労働力需給の趨勢を有効求人倍率（季節調整値）でみると、10月は1.37倍となり、前月比で0.01ポイント上昇となり、前年同月比で0.05ポイント低下となった。

③ 近年の企業立地動向

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
雇用創出数	424人	321人	356人	362人	359人
企業立地件数	72件	60件	60件	62件	40件

※県独自集計

・主要企業用地の分譲状況

富山新港臨海工業用地 426.8ha（うち分譲済 418.0ha、分譲率 98%）

・最近の主な立地企業（令和4年6月以降、増設を含む）

企業名		業種	竣工 操業開始 年 月
株式会社KOKUSAI ELECTRIC（砺波事業所）	砺波市	半導体製造装置製造	6年9月
東洋紡株式会社（庄川工場 紡績棟）	射水市	繊維製品製造	6年5月
クラシエ株式会社（バルク棟）	高岡市	医薬品製造	6年3月
ダイト株式会社（総合研究センター）	富山市	医薬品製造	6年3月
日本ゼオン株式会社（リサイクルプラント）	高岡市	合成ゴム・電子材料製造	6年3月
株式会社東洋電機製作所（横越第2工場）	上市町	電気制御装置製造	5年12月
ダイト株式会社（第十製剤棟）	富山市	医薬品製造	5年12月
日本重化学工業株式会社（高岡事業所 水素吸蔵合金工場）	高岡市	水素吸蔵合金製造	5年11月
カルバオン株式会社（入善工場）	入善町	産業機械製造	5年9月
株式会社大樹（本社工場増築）	射水市	包装資材製造	5年8月
株式会社SCREENホールディングス（高岡事業所）	高岡市	半導体製造装置製造	5年8月
Genky DrugStores株式会社（ゲンキー富山小矢部RPDC）	小矢部市	ドラッグストア事業	5年7月
ナレッジメディカル株式会社（本部社屋）	高岡市	医療機器販売	5年7月
リードケミカル株式会社（久金工場南 包装物流棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
富士化学工業株式会社（製剤第3棟）	上市町	医薬品製造	5年7月
株式会社シキノハイテック（第二工場）	魚津市	電子機器製造	5年5月
株式会社不二越（油圧走行モータ第2工場）	滑川市	工具・工作機械製造	5年4月
ジャパンメディック株式会社（新工場）	富山市	医薬品製造	5年4月
株式会社リッチェル（本社R&Dセンター）	富山市	プラスチック製品製造	5年4月
十全化学株式会社（本社屋）	富山市	医薬品製造	5年3月
立山化成株式会社（新精製棟）	射水市	医薬品製造	5年3月
日東メディック株式会社（第1製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年12月
株式会社廣昌堂（新包装棟）	射水市	医薬品製造	4年12月
日本ゼオン株式会社（統合生産センター）	高岡市	合成ゴム・電子材料製造	4年10月
株式会社KMC（新本社・工場）	高岡市	金型製造	4年9月
NSK富山株式会社（高岡工場 新棟）	高岡市	産業機械用軸受製造	4年9月
タカノギケン株式会社（新工場）	富山市	電子部品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第7製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年7月
富士製薬工業株式会社（第6製剤棟）	富山市	医薬品製造	4年6月
株式会社山口技研（新工場）	入善町	精密加工	4年6月

2 全国の動き

内閣府の月例経済報告をご参照ください。

内閣府ホームページ：<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>